

全国伝統医薬推進ネットワーク構築記録

昨年未より、和漢薬研究所では、下記の伝統医薬研究推進ネットワークの趣意書を作成し、全国の伝統薬物に携わる研究者に参加を呼びかけた。現在までに、約50名の登録者があり、今後、一層の登録者を増やすと共に、研究交流を活発にし本ネットワークシステムを推進する予定である。

関係各位

初秋の候、先生には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、富山医科薬科大学和漢薬研究所では、日本薬学会、日本東洋医学会、日本生薬学会、和漢医薬学会、日本アールヴェーダ学会など様々の学会に所属し、伝統薬物の基礎から臨床に至るまでの幅広い分野で精力的に活動している研究者間のネットワークを構築することにいたしました。本ネットワークを通じて研究者間の意志の疎通をはかるとともに、伝統医薬学の研究を推進し、情報交換や共同研究等の一層の発展を促すことを目的としております、当研究所としても、ネットワークシステムの登録者の方々には、和漢薬研究所年報の配付、シンポジウム、セミナーなどの情報提供を積極的に行っていく所存であります。是非とも、本ネットワークシステムの構築の趣旨に御賛同を頂き、御登録いただきたく存じます。

登録は、例にならって、必要事項を御記入の上、10月末日までにメールで本学研究協力課に御回答を頂きたく存じます。

なお、本目的に御賛同いただける伝統医薬学研究者を御存知でしたら、是非御推薦をお願いいたします。

大変、お忙しい折と御推察いたしますが、よろしくお願い申し上げます。

国内と同様、海外の伝統医薬の研究者とも連携し情報交換を進めるため、伝統医薬研究推進ネットワークシステムの海外版を昨年より作るようになった。現在までのところ、72名の海外研究者に参加を呼びかけ、18名が参加することになっている。今後さらに参加者を増やす予定であるが、参加者には日本で行われる伝統医薬に関する会議等の情報をはじめ、当和漢研年報を発送する予定である。3月1日現在参加希望を表明している研究者は国別に以下のようになっている。

中国：6名、韓国：4名、インド：2名、バングラデシュ：1名、ネパール：1名、エジプト：1名、ベトナム：1名、米国：1名、日本在住外国人：1名。